

岩手県立千厩高等学校第2回学校評議員会 議事録

1 日 時：平成27年2月24日 15:30～16:30

2 場 所：千厩高校 会議室

3 参集者：
学校評議員（敬称略）
及川 宏、北田文人、皆川 修、千葉周一
学校職員 校長、副校長、事務長、総務主任（代理）、教務主任、
生徒指導主事、進路指導主事、農場長、産業技術科長

4 学校概況説明（資料説明）

5 学校評議員からの意見

- スマホやラインなどの問題は、全国的に起きているが、千厩高校では、少なくなっていることに安心した。しかし、指導は今後も必要だと感じている。
- 地域農業の担い手確保のため、JAや市は研修制度を設けている。引き続き担い手育成の指導をして欲しい。
- 千厩高校は、地域の学校ではあるが、「THE千厩高校」として、他地域からも学校に魅力を感じ、生徒が集まる特色ある学校になって欲しい。
- 地域の中学校からは、子どもをより良く育てている、という評価が高い。引き続き指導をお願いしたい。
- 先のひなまつりへの生徒の参加、それを報じたマスメディアの効果は、地域でも評判になっている。つまり、生徒も先生も街に出て、情報を発信して欲しいと思う。
学校のことについて、わざわざ学校に足を運んで、助言する方は少ない。静かに学校の中で待っていても、地域の方も中学生も集まってこない。
- 少子化でどこの学校も状況は厳しくなっている。場合によっては、淘汰される学校もあるかもしれない。学校の在り方について、単年度計画では解決できないこともあると思うので、中期計画を考え、特徴づくりが必要だと思う。生徒が、みんな良い子ばかりである必要はなく、特徴的、個性的で、すごいと思われる生徒がいてもいいと思う。そして、長いスパンで、生徒育成のために、地域と連携して欲しいと思う。